

南山城村高尾地区ワークショップ（2011.9.17～19）プログラム

1 テーマ

高尾地区のこれからを構想する～自分たちにできることから考え、始めよう～

2 目的

- ・ 高尾地区の住民、とりわけ地域活性化部会が中心となって、今後の具体的な取り組みへとつなげていく「きっかけづくり」として、大学生や自治体職員等“ヨソ者”の視点も得ながら、高尾地区の魅力を見つめ直すとともに、これから地区がめざす将来像を語り合い、共有する。
- ・ また、その将来像の実現に向けた具体的な方策について、様々なアイデアを活発に出し合い、今後の継続的な活動への「種」を得る。

3 ワークショップの過程で大切にしたいこと

- ・ 地域活性化部会のメンバーと地区外からの参加者が、腹を割って本音で話しあえる「信頼関係」を築く。
- ・ 本ワークショップが、一過性のイベントで完結するものではなく、今後、高尾地区住民（地域活性化部会）が主体となった具体的な活動へと継続していくものであると認識した上で、地区外からの参加者は、高尾地区住民の思いを度外視して「考え方」や「アイデア」を一方向的に押しつけるような提案を行うのではなく、むしろ「高尾地区住民の思いの引き出し役」として、“ともに考える姿勢”を大切にする。
- ・ しかしながら、地区外からの参加者は、新たな視点やアイデアを地区にもたらし可能性を秘めており、その発想の抑制は損失である。本ワークショップは、最終的な今後の活動内容を決定する場ではなく、「アイデアの種を得る」ところまでが到達目標であることから、とりわけ具体的方策を考える際には、自由かつ柔軟なアイデア創発を心がける。

4 参加者 約25名

- ・ 大学生 14名
- ・ 南山城村職員 2名
- ・ 大阪国際大学教員・OB（田中先生、藤井先生、小竹森さん）3名
- ・ 兵庫県職員（富士谷、溝口、近藤、上平、大橋）5名（大橋は2～3日目のみ）

スケジュール

斜体フォントは、スタッフの動き

ねらい	日時	内容	
開始前	朝～	昼食（井もの）の仕込み、会場セッティング	
受付	10:00～	受付、参加費(6,000円)徴収、座席（イスのみ車座）に誘導 物品（A4白紙、クリップボード、色マジック（黄・橙除く））を座席にセット	
関係を築く	17 (土)	10:30～ <ul style="list-style-type: none"> ■導入 <ul style="list-style-type: none"> ○趣旨説明(田中先生) ○あいさつ(福仲さん) ■チームビルディング <ul style="list-style-type: none"> ○並び替えゲーム <ul style="list-style-type: none"> ・お題の順番に並ぶ（円形） (1) 生年月日順（見目で判断。NG：話す、ジェスチャー） (2) 今朝、起きた時間 ○自己紹介 <ul style="list-style-type: none"> (1) 自己紹介シート（A4白紙）に色マジックで次の4項目を記入 <ul style="list-style-type: none"> ①（呼ばれたい）名前、②やっていること、③どこから来たか ④今の気分は？ (2) 一人ずつ自己紹介（自己紹介シートを見せながら） ○再度並び替え <ul style="list-style-type: none"> (1)（呼ばれたい）名前の50音順に並ぶ（NG：話す、シートを見せる） (2) 答え合わせで改めて名前を確認 ■名札作成 <ul style="list-style-type: none"> ・名札ケース、用紙はこの時に配る 	
		12:00～	昼食（井もの） 会場セッティング（アイランド型：5人×5グループ）
		13:00～	■レクチャー・・・座席は、アイランド型で自由席 <ul style="list-style-type: none"> ○高尾地区の基礎情報（福仲さん）[20分程度] ○総合計画アンケートの取りまとめ結果報告（大学生）[20分程度] ○フィールドワークの進め方（田中先生）[20分程度] →説明後、グループ分け（地域活性化部会メンバーの小字ごとに1班。そこに大学生、自治体職員が入り、各班5人程度で計5班。）
高尾地区の魅力を 知る	14:00～	■フィールドワークその1 <ul style="list-style-type: none"> ・班に分かれて、小字単位で踏査。途中で出会った住民にインタビュー等も行い、「驚いたこと、気づいたこと」等をメモ、撮影。 ・地域食材調査 	
	(16:30頃)	■フィールドワークその1のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・付箋に「驚いたこと、気づいたこと」を書き出し、グルーピング ・さらに掘り下げて調べたい項目を抽出 	
	18:00	入浴（レイク・フォレスト）	
	19:00～	夕食・交流会（BBQ）	

高尾地区 の魅力を 知る	18 (日)	7:30～	朝のつどい（旧・小学校まで散歩、ラジオ体操等） 朝食（パン・飲み物）
		9:00～	■連絡（2日目の予定等） ■「フィールドワークその1のまとめ」の共有 ・前日まとめた模造紙を貼り出し、他班の検討内容を見て回る
		AM	■フィールドワークその2 ・①で抽出した項目について、追加で現地調査・インタビュー
		12:00～ 13:30	昼食（高尾地区・婦人による炊き出し） 近畿農政局職員（草刈りボランティア活動で来村。約10人）と座談会
		13:30 ～15:15	■フィールドワークのまとめ（発表資料作成） ・フィールドワークその1、その2の調査結果を模造紙にまとめる
将来像を 語り、 共有する		15:30～	■発表：「高尾地区の魅力」 ・各班10分程度（発表5分+質疑5分）×5班
		16:30～	■対話：「高尾地区のこれから」 ○ワールドカフェ（30分×3セッション） ・第1・3セッションは、地域活性化部会メンバー+藤井さん（小竹森さん）のみで1つの島を構成。他の参加者はシャッフル ・問い「あなたが高尾地区のリーダーだとしたら、この魅力を活かして、高尾をどのような地域にしていきたいですか？」 ○ふりかえり ・島ごとに、ワールドカフェで出たキーワードをA3用紙に記入 ・それを披露しながら、壁に貼り出す
		18:30	入浴（レイク・フォレスト）
		19:30～	夕食・交流会（鍋）
具体策を 考える	19 (月)	7:30～	朝のつどい（旧・小学校まで散歩、ラジオ体操等） 朝食（パン・飲み物）
		9:00～	■グループワーク ・「高尾地区のこれからを考える～自分たちにできることから考え、はじめよう～」(将来像の実現に向けた具体策を考える) ・グループは、アイデアの均質化を防ぐため、属性ごとに班分け（計4班） ①地域活性化部会・藤井さん・小竹森さん ②自治体職員 ③大学生(2班)
			昼食（お弁当手配）
		13:30～	■プレゼンテーション ・各班15分程度（発表10分+質疑5分）×4班 ・地区住民にも、ゆるやかに参加を呼びかける
		14:30～ 15:00	■ふりかえり ・プレゼン内容に対して、地域活性化部会からコメント ・気づき、学びのふりかえり（振り返りシートを準備）